

あなたのお子さんを守るために

～SNSなどによる犯罪被害から守るために～

初冬の候、保護者の皆様には、日頃より本校教育に深いご理解とご支援をいただき、ありがとうございます。

さて、皆様も新聞報道等でご承知のとおり、大阪市の小6女児誘拐事件において、改めてSNS利用の危険性が取り上げられています。2019年11月27日の下野新聞によれば、2018年にSNSを通じて被害にあった子どもは、県内で26人おり、被害の低年齢化が進んでいるとのこと。

まもなく冬休みに入ることもあり、楽しいはずのゲームがその後の大きな苦しみに変わらないように、保護者の皆様もお子様のネット利用状況を把握していただき、お子様をSNS等による犯罪被害から守るために、改めて家庭のルールづくり等を確認していただきますようよろしくお願いいたします。

ネット利用に関する家庭のルールを作る ために

(栃木市教委からのプリントを一部抜粋)

ルールは、お子様と一緒に考え、一緒に決めましょう。その際、ルールを作る上での保護者の願いとして「子どもの安全を守ること」や「思いやりの心を育てること」のために必要であることをお子様に話してください。



ルールを決めるときポイントは何ですか？

「使用する時間や用途を制限すること」「個人情報を守ること」「ネット上のマナー」などについて話し合みましょう。



【家庭のルールの例】

- ・知らない人とインターネット上でやり取りをしない。
- ・インターネットは、夜9時を過ぎたら使わない。
- ・1日1時間までとする。
- ・自分の名前や生年月日、住所、メールアドレスなどの個人情報を気安く知らせない。
- ・勝手にサイトへの登録、買い物、応募をしない。
- ・自分が書かれて嫌だと思ふことは書かない。
- ・困ったり、分からないことがあったりしたら、必ず保護者に相談する。

ルール以外にも、子どもをネット被害から守るためにフィルタリングを設定することが必要です。



ルールを作った後、大切なことは何ですか。

ルールを作った後は、子どもの行動を常に見守り、ルールをきちんと守っているか定期的にチェックしましょう。そして、子どもが自らルールを守っているときは、大いにほめましょう。



ネットトラブルから、お子さんを守るための3つのポイント

1. 本当に情報機器が必要かどうかを、一緒に考える。

- ・情報機器のプラス面と同時に、マイナス面を一緒に考える。

2. ルールを一緒に考えて、一緒に決める。

- ・利用時間を設定する。
- ・相手への思いやりを考えさせる。
- ・自分の身を守るための方法を確認する。
- ・「いつ、**止める時**なのか」を考えさせる。



3. 常に見守り、定期的にチェックする。

- ・ルールを守っているか、どのようなやりとりをしているかを確認する。

※ 子どもに「今、自分にとって何が大切なのか、何をすべきなのか」という目的意識を持たせる。

※ 親として「あなたにとって、今、一番大切なことは何か」を、子どもに問いかける。

※ SNS等の被害に遭わないために、千葉大の藤川大祐教授は、

「SNSで知り合った大人と実際に会うのは危ないと思っても、遊ぶゲームなど共通の趣味があれば『信頼関係』はできてしまう。不安や不満を家族に打ち明けられないとき、頼れそうな大人を探せる環境がSNS上にはある。スマホを使う場所や時間をルール化するなど、まずは保護者が関心をもつことが大切」

と指摘しています。

子どもとのコミュニケーションを大切にしながら、子どもが安心して過ごせる環境を、学校と家庭が協力して創っていくことが大切と思います。どうぞよろしくお願いいたします。